

## 1. 「男女共同参画社会」とは？

固定的な価値観にとらわれることなく、誰もが家庭・職場・地域などのあらゆる分野に参画する機会があり、ひとりひとりが自由に選択することができること、そして、それらをお互いに認め合うことができる社会です。



なぜ「参加」ではなく「参画」という言葉が使われているのでしょうか。これは男女の別なく誰もが、積極的に意思決定の場に加わり、仲間になるだけでなく、平等に議論ができ、意思決定できる社会を目指すということの表れです。

## 2. なぜ男女共同参画が必要なの？

少子高齢化や社会経済情勢の急速な変化により、男女の別なく、仕事・家庭・子育て・介護・地域への参画すべてに、誰もが関わっていく可能性が広がります。

例えば少子化の要因のひとつに「家庭と仕事との両立が難しい」ということがあります。この問題を解決するためには、子育て中の当事者だけが奮闘すればよいというものではなく、家庭と仕事を両立しやすくするための環境整備や周囲の理解、つまり男女共同参画の視点が必要です。

同じように周囲を見渡すと「おかしいな?」と気づくことがあります。みなさんの周りで、「力仕事だから男性にお願いしよう」「男だから弱音を吐けない」「自分(男性)が出産するわけではないのに、育休とるのか?」「会長は男性、副会長は女性になってもらおう」というような、古くからの固定観念により、誰もが持っているはずの「選択する自由」を奪ったり奪われたりする場面に遭遇することはありませんか?

このように男女共同参画が必要な場面は、案外身近にあるものです。男女共同参画のたくさんの課題の中で、どの課題が自分に関係しているかは、みんな違います。自分も周りの人もできるだけお互いに気持ちよく生活できるようにするためには、性別によって役割を決めつけるのではなく、男女が互いの人権を尊重する社会を築くことが必要なのです。そして、当事者だけでなく、みんなで問題解決に取り組むことが大切なのです。

column 「こらぼ講座」で学ぼう! 男女共同参画

こらぼ講座

検索

男女共同参画アドバイザー(市民講師)が皆さんのもとへ出向き、男女共同参画について、わかりやすく説明したり、ワークショップなどを行ったりします。実施時間は午前10時から午後9時まで、1講座120分以内です。詳細や申込みは浜松市ホームページでご確認ください。



## 3. どうすれば男女共同参画がもっと推進されるの？

世代によって、育った環境や社会情勢が違うので、男女共同参画に関する考え方や感じ方、行動も違います。違う者同士が、お互いのことを思いやり、認め合うことが、男女共同参画社会の実現への近道となります。

また、「男女共同参画の推進といえば、『女性の自立』『男女平等』を促す」と良く言われますが、男性だけが変われば、あるいは、女性だけが変われば、男女共同参画社会が推進されるというものではありません。

現在は、ひとりひとりが尊重され、さまざまな選択肢の中から選ぶ自由があり、周囲の人もそれを認めようとしています。誰もが「選択の自由」を持ち、みんなで支え合う男女共同参画社会の実現に向けて、さらに前進しませんか?

時代や育った環境が違うから、考え方や感じ方が違うのは当たり前。

